

## 電気通信大学 平成20年度シラバス

授業科目名	基礎プログラミングおよび演習		
英文授業科目名	Fundamental Programming		
開講年度	2008年度	開講年次	1年次
開講学期	後学期	開講コース・課程	昼間コース
授業の方法	講義	単位数	2
科目区分	専門科目-専門基礎科目-		
開講学科・専攻	情報通信工学科		
担当教官名	渡邊 成良、織田 健		
居室	総合研究棟825(渡邊)、総合研究棟 819(織田)		

公開E-Mail	授業関連Webページ
watanabe@ice.uec.ac.jp	履修者にもみ、自宅からも閲覧できる。

<b>【主題および達成目標】</b>
問題解析図 PAD とプログラミング言語 Pascal の学習を通して、 効率の良いプログラムを完成する能力を付けることを目標とする。

<b>【前もって履修しておくべき科目】</b>
コンピュータリテラシー

<b>【前もって履修しておくことが望ましい科目】</b>
なし

<b>【教科書等】</b>
参考書：川合慧著「PASCAL入門」（共立出版） 参考書：真野芳久著「Pascalプログラミングの基礎」（サイエンス社）

## 電気通信大学 平成20年度シラバス

### 【授業内容とその進め方】

前半は問題解析図 PAD を用いて、基本的なアルゴリズムの構築方法を学ぶ。  
後半はプログラミング言語 Pascal を用いて、UNIX ワークステーションの計算機環境の中で演習を行なう。  
なおこの科目は、コンピュタリテラシーを受講し、計算機の基本的な利用技術を習得していることが前提となっており、WWW教材を用いた学習形式をとる。

学習の主な流れを以下に示す。

- ・ PAD の基礎
- ・ 制御構造
- ・ 関数と手続き
- ・ データ型
- ・ Pascal の基礎
- ・ 自分で作るデータ型

本授業は、同一講義時間内に基礎プログラミング演習と並行して行なわれる。

毎週、課題を授業時間内に解いてもらう。分からないところはTAや教員に質問すること。課題の提出は次の授業日の前日までとなっている。予習、復習を欠かさずに行い、提出課題について仲間同士で討論することで、課題解決が効果的に行えるようになる。

### 【成績評価方法及び評価基準(最低達成基準を含む)】

成績評価方法は課題レポート 50点、期末試験 50点の計 100点である。評価基準はその合計が90点以上を秀、80点以上を優、70点以上を良、60点以上を可とする。

なお、最低達成基準は、参考書を読みながら、また教員、TA、仲間に質問しながらでも、課された課題を独力で解ける技術を習得し、さらにそれらの補助なしに期末試験の正解が 40%を下回らない程度の理解を求めている。

### 【オフィスアワー：授業相談】

相談は演習時間内の質問に応じることで対応する。特に必要ならば、相談時間を別にとって対応したい。その場合、予めメールによりアポイントメントを取ること。

### 【学生へのメッセージ】

情報通信工学科の基礎科目の1つであるので、積極的に学ぶことが期待される。

### 【その他】